

工法の特長

- 1 構造物を上から下へ仕上げながら切り下がる逆巻き施工が基本で、余分な切土や埋め戻し作業が発生せず、土工事量が低減できます。
- 2 掘削断面が必要最小限ですみ、森林、緑地等の周辺環境への影響を少なくできます。
- 3 表面保護工のプレキャスト化により、工期短縮と省力化が可能となります。
- 4 コンクリート板は工場生産のため品質に優れ、表面の意匠も様々に対応ができます。
- 5 高所作業がほとんど発生せず、極めて安全性の高い工法です。

